

玄関マット

接着剤使わず低温成型

日之出、エコマーク取得

【豊橋】清掃用品製造・販売の日之出（愛知県豊橋市、松本百合子社長）は再生ペットボトル繊維と合成ゴムを、接着剤を使わずに一体成型したマットを開発した。レンタル用玄関マットとして初めて「エコマーク」の認定を受けた。耐久性や製品価格も従来品とほぼ同水準という。大手企業や官公庁が環境配慮型製品の購入を推進していることもあり、レンタル業者向けの販売に力を入れる。



エコマークを取得したレンタル用の玄関マットとモップ

商品名は「ECOヒューレ」。全体重量の三五％に再生ペット繊維を使い、財団法人・日本環境協会からエコマーク認定商品として承認された。従来のマットはペット繊維を打ち込んだ基布と下の合成ゴムの間に液状の接着剤を利用、乾燥さ

せ一体成型している。作業にはセ氏百二十度程度の高温が必要で、大量の熱量を必要とする。同社は七十度以下で溶ける特殊な繊維を基布の下部に薄く広く押しつけ、これを接着剤の代わりにする工法を開発し

初 夕 源 廣

た。接着剤は一平方メートルあたり一・五以上必要だったが、新工法で使う接着剤繊維は四十％程度で、製品の軽量化にもつながった。二週間に一度のペリスで洗濯しても、五十回以上の洗濯に耐えられ

るという。工場などから排出される使用済みの手袋や作業衣をリサイクルしたレンタル用モップ「ECOひまわり」も販売する。特殊なモップ系製法を使い再生繊維でも十分な強度を確保、エコマークも取得した。エコマーク認定のマット・モップ合計で年間一億円程度の販売を計画している。日之出の二〇〇四年六月の売上高見込みは八億円。従業員数は約四十人。